

研究課題名「地域に在住する高齢者の感覚処理と認知機能との関連」に関する 情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象者は、2026 年、2027 年、2028 年のすべて、あるいはいずれかに、東郷町と名古屋大学の共同事業である「東郷いきいき度チェック」に申し込み、「地域在住高齢者の加齢による身体・認知機能低下に関与する要因の探索」（研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻バイオメディカルイメージング情報科学・教授・竹上 靖彦）」の調査に参加し、本研究への参加にも同意なさったみなさまです。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：近年、高齢者の感覚処理が注目されています。感覚処理とは、外部からの音や光などの感覚情報を受け取り、それを神経系が調節・統合し、その場に適した行動や注意といった反応を導き出すまでの一連のプロセスを指します。このような感覚処理は加齢により変化が生じることが明らかにされています。そこで本研究では、地域に在住する 65 歳以上の方々の感覚処理と認知機能の経年的な変化について明らかにしたいと考えております。これらを明らかにすることは、認知症予防につながる新しい方法づくりに役立つと考えています。

研究方法：本研究では、感覚処理と認知機能の評価を行います。感覚処理の評価は、ご自身に自記式質問紙への回答をしていただく方法で行います。認知機能の評価には、非医療機器である「のう KNOW®」を使用します。タブレット端末上に表示されるカードに対して「Yes／No」で反応していただくもので、その際の反応時間と正答情報が自動的に記録されます。また、これら以外に、この研究で必要とする年齢、性別、既往歴などは、「地域在住高齢者の加齢による身体・認知機能低下に関与する要因の探索」（研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻バイオメディカルイメージング情報科学・教授・竹上 靖彦）にて収集された情報を使用いたします。

さらに、本研究は、「地域在住高齢者の加齢による身体・認知機能低下に関与する要因（研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻バイオメディカルイメージング情報科学・教授・竹上 靖彦）」の調査と同日に同会場にて行い、同じ研究 ID を付番します。そのため、本研究では、データ収集の際、個人情報扱わず、得られたデータは電子媒体で保存し、鍵のかかる棚で保管します。

研究期間：実施承認日～（西暦）2029 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる情報の種類

研究に用いる情報は、参加者のみなさまの感覚処理を評価する Adolescent/Adult Sensory Profile・認知機能を評価する Cogstate brief battery の得点です。

4. 外部への試料・情報の提供

この研究の情報を他の機関などに提供することはありません。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻看護科学・准教授・星野純子
岐阜県立看護大学看護学部・准教授・宇佐美利佳
東郷町役場 保険医療課 成人保健推進室・室長・森本美香

6. お問い合わせ先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者・研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻看護科学 准教授・星野純子

問い合わせ先の住所：〒461-8673 愛知県名古屋市東区大幸南 1-1-20

電話/ファックス番号：052-719-3150

E-mail：hoshino.junko.m7@f.mail.nagoya-u.ac.jp